2820

Rotary District 2820

CREATE HOPE in the WORLD

7 Vol.1 2023

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

DIALOGUE Governor+ No.1 水戸市長 高橋　靖 氏

RI会長メッセージ

ガバナーメッセージ

地区幹事挨拶・地区会計長挨拶

ガバナー地区スローガン

ガバナー補佐・クラブ会長・幹事紹介

地区年間予定表（前期）

ガバナー公式訪問に関するお願い

クラブ定例会報告カレンダー

地区資金及び基金・協力金の概要

地区資金予算書

基金及び協力金予算書

送金カレンダー

2023-2024年度RI第2820地区組織図

世界米山学友による再開in関東

2024年シンガポール国際大会早期登録のご案内

ガバナー公式訪問・スケジュール・分区地図

ガバナー事務所・編集後記

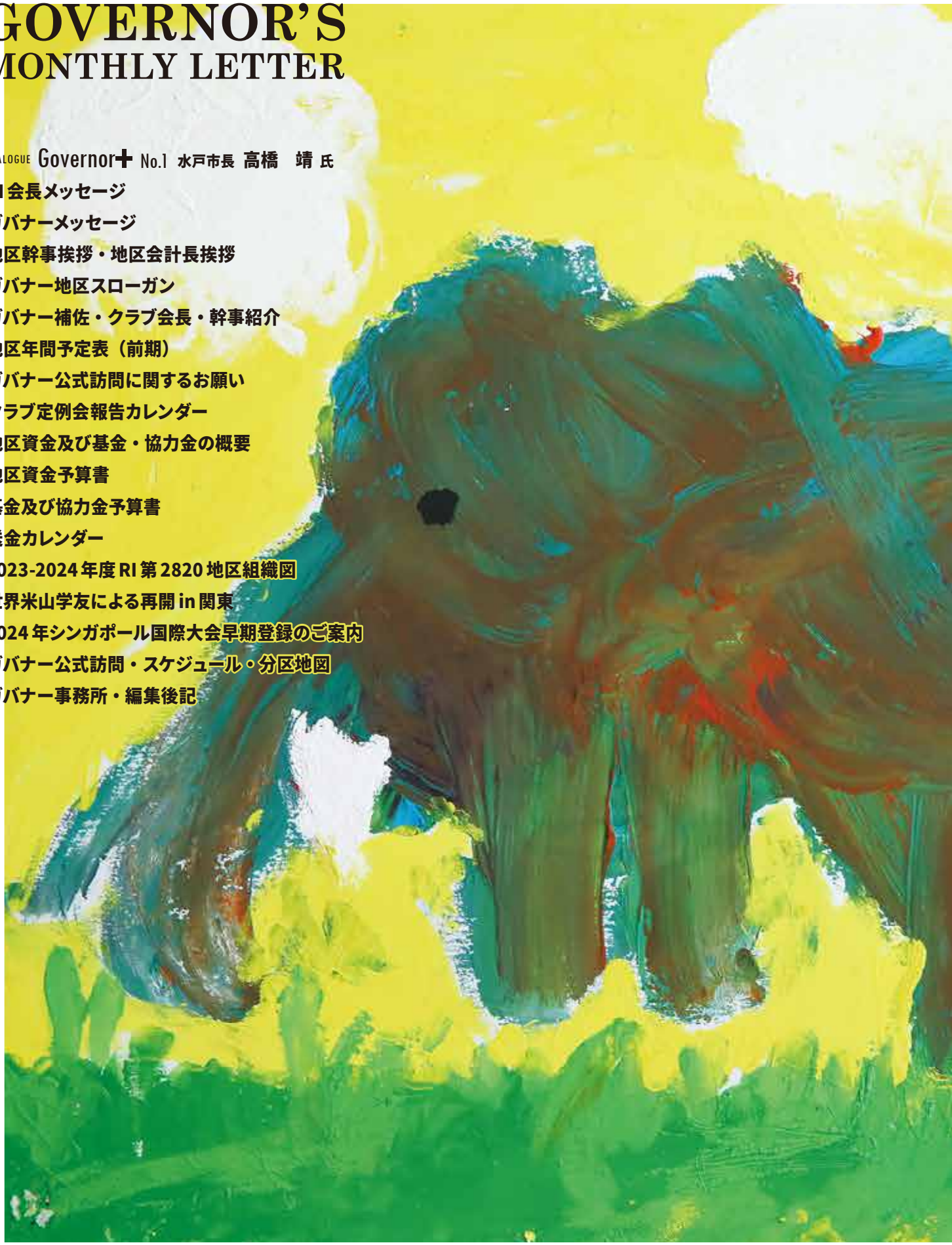
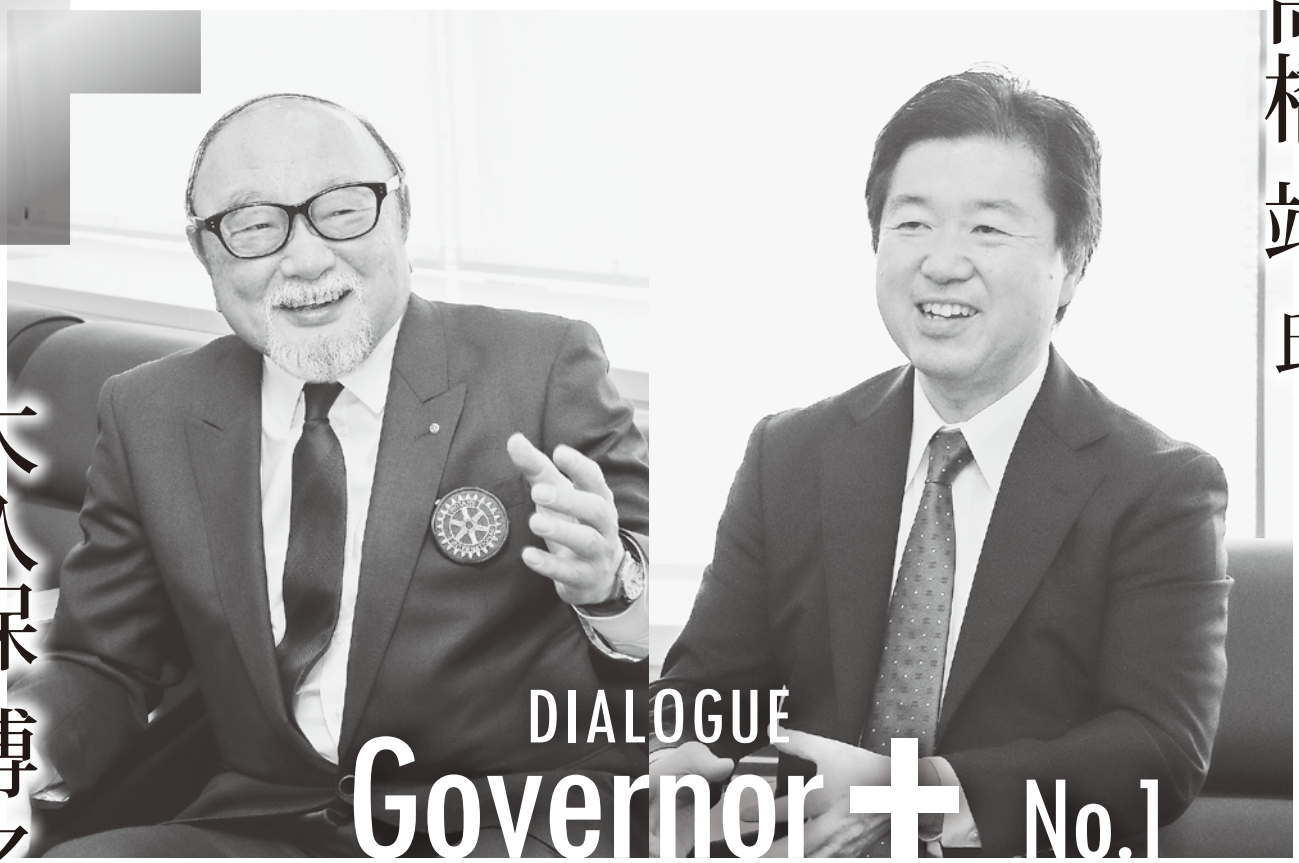


Illustration 長山桜空 リリー幼稚園

水戸市長 高橋 靖 氏



大久保 博之

茨城の未来について語り合う

― 茨城県各界のＴＯＰと大久保ガバナーが毎月対談します ―

＜司会：髙原幹事＞

本日の対談のテーマは、「地域における NPO や NGO、ボランティア団体の役割」「街を活性化させる街のコンテンツについて」「県都の役割、県都のガバナーの役割」です。

＜大久保ガバナー＞

NPO、NGO、ボランティア団体がありますが、インフラも含めてまちづくりは行政の方向性が一番の核であり、それとともに、民間の NPO やボランティア団体がまちづくりを協働していく時代になっていると思います。その辺についていかがですか。

＜高橋市長＞

人口減少、超高齢化社会、ライフスタイルの多様化、様々な変化がある中で、行政、ネットワーク、ノウハウ、知恵だけでは行き届かないところがあり、これからの市民福祉の向上、環境保全、街の振興は、地域に根差したボランティアの方々、あるいは専門性を持った NPO の方々抜きでまちづくりは語れないというところまで、地位は向上しているのかなと思っています。

水戸市でも、行政の力だけでは行き届かない部分を補完していただいているという機能があります。近年は、その方々が主役で牽引していただかないと市民生活が成り立たないというところまで重要性が高まっています。行政と市民の活動団体の方々との連携を深めていく、また、私たちも活動をしっかり支援させていただかなければならないと思っています。

＜大久保＞

アメリカなどでは、NPO はお金を払わない公務員と訳されることもあります。つまり、営利

ではなく、非営利団体だけれどもまちづくりをやっている。でも、NPO やボランティア団体というのは大体経済的に行き詰まってやめてしまうというのが多いので、志だけではなく、そこでしっかり稼いで継続することも大事なのだと思います。

＜高橋＞

今、ガバナーがお話しされたように、NPO などは非営利団体ですが集金力を持たなければならないと思います。日本はボランティアや NPO などの活動に賛同、協賛をするということが苦手で遅れておりますが、その理解を深めていくことによって、まず協賛でお金が得られる。活動が活発化することによって、運営費を賄うことができる。日本人はその仕組みをもっと学ぶべきではないかと思っています。

＜大久保＞

そう思います。ロータリークラブ（以下ＲＣ）も広く言えば NPO の一つなのですが、県内 55 クラブあって、それぞれの地域に合わせて奉仕活動をやっています。様々な特色があって、地域性もあり、伝統的に何十年も活動をやってきているのですが、何かＲＣに期待していることはありますか。

＜高橋＞

今、ＲＣさんとは、災害時の応援協定を結んでおりますし、環境などへの取組も一緒に活動しています。ＲＣの方々は社会奉仕活動を熱心に活動され、地域をよくしたい、街を活性化したい、あるいは人々を幸せにしたいという思いを強く持っている方々だと思います。

そういう方々が行政との関わりを持つということは、街の発展、市民の生活、福祉の向上につながっていくであろうし、熱い思いを持っている方々を私たちの行政運営の中に取り込ませていただいて、一緒に活動をさせていただければありがたいなと思っています。

行政は財政的に非常に厳しいという事情もあり、お金ということではなく、物品など様々なご寄附などもいただければ、市民の皆様方にも喜ばれます。そういう意味では、水戸ＲＣさんがやっていただいている経済的に厳しいご家庭に対する文房具等の支援などは非常にありがたいことです。

＜大久保＞

水戸ＲＣが中心となって千波湖水質浄化推進協会をつくりました。環境団体も市内のＲＣも一緒の輪になって、そういう場づくりもＲＣはやっております。そういう民間の団体があちこちでたくさんやっていることはいいことだと思うのです。ただ、その連携と情報交換は、市に場所をつくっていただくと、いろいろな人が集まって、情報交換しやすいかなと思うところがあります。

＜高橋＞

行政が中心となって何らかのプラットホームをつくり、そこに様々なボランティア集団の方々に集まっていただき、議論をし、強みを出し合い、それぞれの役割分担の下に街に貢献していただけるという姿が描ければありがたいなと思っております。

＜大久保＞

それこそ民主主義の成熟した姿だと思いますね。私は、「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」という地区スローガンを掲げています。今回、ミシュランをもじりました茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」を作成し、11 月４日、５日に水戸市民会館で開催予定の地区大会で発表します。

活性化というのは、一言で言えば、街に人が多いことだと思うのです。人は増やしたいけれ

ども、居住人口はなかなか難しい。交流人口というと観光ですが、水戸市は、昼間の交流人口、就業人口、就学人口も多いと思うのです。これをますます増やすためには魅力ある街のスポットがないとだめだと思ってきたのですが、今回、水戸市民会館ができました。その辺について一言お願いします。

＜高橋＞

水戸市は古くから歴史や自然を売りにして観光誘客を図ってきたのですが、30 数年前に、当時の市長さんが水戸芸術館を独特な運営方針とコンテンツで造って、それが今、日本ばかりではなく、世界からも評価を受けています。あれだけで水戸の名前は相当広まって、イメージアップにつながっているのではないかと思います。

＜大久保＞

バルセロナに行ったときに、サグラダファミリアの中に水戸の芸術館の模型があって、びっくりしました。磯崎新さんが寄附したとか。

＜高橋＞

ヨーロッパ公演も水戸室内管弦楽団がやっていましたから、そこに一つ、芸術文化というコンテンツが水戸にやってきて、今までの黄門様と納豆ばかりではないのだぞと。そこでイメージアップとか人の交流が始まっていると思うのです。新たなコンテンツをしっかりつくり出して、それを磨き上げていく。そこに賑わいを創出していく。これは新たな歴史をつくっていく上で、今生きる私たちがやっていかなければならないことなのだと思うのです。

当時の商工会議所はじめ経済団体からは、水戸市のコンベンション機能が非常に弱い、道具がないから勝負にならないと言われてました。では、水戸市もしっかりとした道具を持とうということで、現在の中心市街地で、コンベンション機能を持ったものに造らせていただきました。水戸市民の芸術文化活動を支援する機能をしっかりと持たせながら、これからソフト事業をきちんと展開していきます。

今のところ、他力本願ですが、色々な有名アーティストを誘致してきたり、あるいは商工会議所さんが全国観光振興大会を誘致してくださったりしています。

＜大久保＞

そうですね。水戸市民会館は茨城県最大のホールということで、市長がおっしゃられたように、今まで来られなかった有名アーティストも見られる。また、オペラのような本格的な芸術ができる舞台装置になっている。高度な芸術文化が発信できるということ、コンベンションの機能があること、大・中・小の会議室とホールもあること、そしてさらに水戸市の中心に造ったということが、水戸の活性化の起爆剤になると思っています。そして、11 月にはロータリーの地区大会をここでやらせていただくというのは本当にうれしいことだと思っています。

＜高橋＞

もちろん、有名アーティストや、外から様々な大規模大会を誘致するのも、街の活性化につながるし、芸術文化の振興にもつながります。市民利用、市民参加、市民がつくる芸術文化活動、市民がつくる街の賑わいの拠点としてつくり上げていきたいと思っております。

＜大久保＞

水戸市は、県都でありますし、茨城県のリーダー都市としての役割があると思うのです。それに関して市長はどのように認識されていらっしゃいますか。

＜高橋＞

まさに今のご質問は的を射たものであって、

県庁所在地は、水戸市民 27 万人の幸せと活性化だけを求めればいいという役割ではないと思います。特に、今、南北格差が言われている中で、南はつくば市を中心としたＴＸ沿線に頑張っていただいています。では、もとより茨城県の中心であった県央・県北地域はというと、人口減少と超高齢化社会、事業所が流出してしまったということで、非常に厳しい状況にあります。

その状況を食い止めることが県庁所在地の役割だと思うのです。ここに様々な学ぶ、働く、遊ぶなどの機能があれば、水戸市を中心に県央・県北地域の活性化につながっていくと思うのです。おかげさまで、高校もたくさんあって、いい教育環境が整っています。また水戸市は昼間人口が多く、つまり働く場がきちんと整っています。そして、水戸市民会館、プロスポーツ、遊びの場もだんだん増えてきています。

水戸市が様々な都市機能、あるいは生活基盤を支える機能を持つことによって、地域の衰退を食い止められる役割を果たしていかねばと思っています。

だから、そこは責任を果たせるように、水戸市がしっかり備えて、県央・県北地域に波及させていく、そこをしっかり役割として認識していかねばと思っています。

＜大久保＞

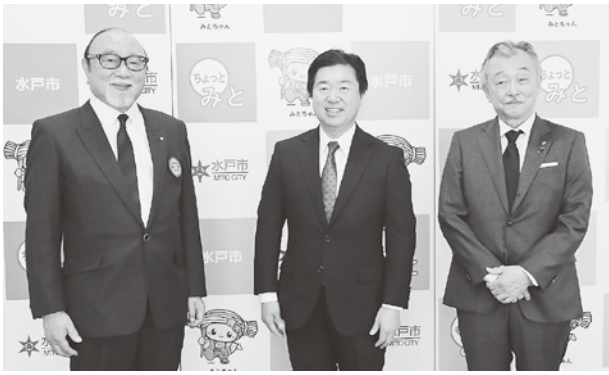
私も、ガバナーとして、地区に委員会組織を持っていますので、55 クラブにモデル的な事業を展開し、地区が、応援団として、各クラブの活性化にどう寄与できるかということを最大のテーマとしていきたいなと思っています。そのためにロータリー活動も頑張りたいと思っています。

＜高橋＞

ぜひそういったところも連携をさせていただきたいと思います。

＜司会＞

本日はどうもありがとうございました。



大久保ガバナー　高橋市長　髙原幹事

PERSON

水戸市長　高橋　靖 氏

生年月日　昭和40年（1965年）６月17日

学　　歴　茨城県立緑岡高等学校卒業
日本大学法学部新聞学科卒業
明治大学大学院政治経済学研究科修士課程修了

公 職 歴　平成７年５月～平成17年８月
水戸市議会議員
平成17年９月～平成23年１月
茨城県議会議員
平成23年５月～現在
水戸市長（４期目）

趣味・スポーツ
ジョギング、ゴルフ、スキー、リクガメの飼育

座右の銘　細心大胆

世界に希望を生み出そう

2023-2024年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー
（スコットランド）

ロータリー会員として今ほど素晴らしいときではないでしょう。私たちはロータリーで素晴らしく歴史的な年度の真っただ中にいます。正直なところ、この年度を早く終わらせたいと思う人はいないでしょう。

ですから、終わらせるのではなく、新しいはじまりを作りだそうではありませんか。年度の扉を閉めるのではなく、次年度への橋を築こうではありませんか。なぜなら、川が流れているなら、それを渡る方法があればありがたいからです。

私はかつて毎日、エディンバラにある私の歯科医院に車で通勤し、フォース川にかかるいくつかの有名な橋を通りすぎるときに、その例を目にしていました。これらの橋をご存知の方もおられると思いますが、これらは見事なエンジニアリングの象徴です。

フォース鉄道橋は、1890年に開通しました。

フォース道路橋は1964年、最近ではクイーンズフェリークロッシング橋が2017年に開通しました。フォース橋の鉄道橋と道路橋を見ていつも感動するのは、これらがビジョンをもつ人たちによって建てられたということです。それは、けっして会うことのない人たちのためのビジョン、けっして知り合うことのない人たちのためのビジョン、それによって生活が改善される人たちのためのビジョンです。そのビジョンは、フォース橋の場合のように、建設から133年経った後も、利用者たちからありがたがられています。ロータリーの私たちのビジョンが、奉仕を受ける人たちからありがたがられているように。

今、ご自分の頭の中で橋のロゴを思い浮かべ、それがテーマと関連しているだろうと思っている方がいたら、そこでその考えをやめてください。たとえ話がすべてテーマであるわけではありません。同じように、次年度に皆さんが行うすべてのことが、これから発表するテーマの推進と支援にかかわるわけではありません。

私たちは、絶妙なタイミングでリーダーシップの手綱を渡されました。今は歴史的なときであり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れています。しかし、私たちの最も優れた仕事のいくつかは、ほかの人たちの継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。ジョーンズ会長とほかのロータリーリーダーたちが始めたことを土台として、今後さらに大きな成果が成し遂げられるようにしていきましょう。これからの私の仕事、そしてすべてのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。

継続とは、以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味します。

私たちは詩人マヤ・アンジェロウの次の言葉からインスピレーションを得るべきです。

「続けましょう／自分らしくあるために／思いやりある行いで／不親切な世界をあっと言わせるために」

過去数年間、ローターアクトに力を与えると約束し、それを実行してきたロータリー会長たちの継続へのコミットメントを、私たちは目にしてきました。その結果は驚くべきものです。ローターアクターたちは引き続き、ロータリーで全面的なパートナーとなるだけでなく、リーダーとなることへの熱意を示すことで、私たちを勇気づけています。ロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支えあう新しい方法を見つけ続けられるかどうかは、私たちにかかっています。

継続のもう一つの優れた例に、女児のエンパワメントがあります。ジョーンズ会長は、メータ会長のプログラムを継続することでこの素晴らしい模範を示しました。この取り組みは、多くの点でロータリーが長年積み重ねてきたものであり、メータ会長がそれに名をつけて拡大させたのです。私の孫娘アイビーとフローレンスのように、世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、私はこれらの会長の仕事を引き継いでいくことを明確にしました。

私はまた、すべての行いにおいて多様性、公平さ、インクルージョンを促進するためにロータリーが遂げてきたすべての進歩を全面的にサポートしたいと考えています。会員数は非常に重要ですが、DEI を全面的にサポートすることは、単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。DEI の最も重要な側面は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。人びとがロータリーを見たとき、そこに自分自身を見ることができる必要があります。そうなることができるかどうかは、私たち次第です。

継続にはほかにも二つの側面があり、それらは皆さんの活動にとって極めて重要となります。一つ目は、ポリオです。ポリオの根絶が依然としてロータリーの最優先事項であることはご存知だと思います。「ポリオのない世界」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの35年間を、私たちは誇りとすることができます。

根絶の実現にどれだけ近づいているか、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを全額得るために最低5,000万ドルを集めることがいかに重要であるかを毎年繰り返し言わたら、疲れるのも無理もないと承知しています。今、私たちに必要なのは、さらなる挑戦かもしれません。現在、ポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約12人に１人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも５分の１を下回っています。

最近、世界の主要都市でポリオが発生したことで、この恐ろしい病の根絶に再び注目が集まっています。根絶が実現した暁には、ロータリーは大きな歴史的称賛を受けるに値します。

ですから、各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考え、できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを私たちが提供すべき時が来ています。新たな緊急感を生み出し、世界の子どもを脅かす流行がさらに発生する前にポリオを根絶できるという希望を生み出すために、皆さんの力が必要です。ロータリーの夢を現実のものとするために、皆さんの力が必要です。

ポリオワクチンの開発者であるジョナス・ソーク博士の次の賢明な言葉に、耳を傾ける必要があります：「希望は、夢を現実にしたいと強く願う人たちの夢、創造力、そして勇気の中にあります」。この言葉は、私たちのすべての活動にとって意味があり、ロータリー行動計画のあらゆる側面に当てはまります。この行動計画は、希望を生み出し、変化に必要な知識と勇気をロータリー会員に与えるものです。これを成し遂げるには、

- 既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクトを立案する方法について会員に話す必要があります。
- 互いに、そして私たちが奉仕するすべての人とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心

をもって接しましょう。

・世代や国境を超えて活動し、関係を築くためのあらゆる機会を探し求めてください。

・世界に持続可能な変化を生む新しいアイデアや視点を、進んで受け入れてください。

そのために、ロータリー行動計画の目標においてほかのロータリアンと協力していただけることを願っています。なぜなら、そうするのがリーダーシップにおける継続の最良の手本であり、ロータリーのこれまでの最良の部分を土台としてさらに素晴らしいものを生み出すことだからです。

行動計画のうち、皆さん全員に既に暗記していてほしいと思う部分があります。それはこのビジョン声明です：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。

ここで話の焦点を、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むという、ビジョン声明の二つの要素に当てたいと思います。そのために、これらのビジョンを実現させる二つの具体的で有望な方法に重点を置きたいと考えています。

一つは、平和にさらなる主眼を置くことです。ロータリーを創始し、築いてきた先人たちは、ロシアが始めた残忍な戦争に直面するウクライナの人びとのために過去1年間に私たちが行ってきた懸命な支援活動を、きっと誇りに思うでしょう。

過去に何度もそうしてきたように、ロータリーは歴史の呼びかけに応え、人道支援を最優先してきました。惜しみなく寄付し、仲間を一心にサポートし、ウクライナの人びとから尊敬を集めてきました。ウクライナで大勢が入会し続けていることは、入会と会員の参加促進について大切なことを示唆しています。しかし、ウクライナ人にとってもロシア人にとっても、平和が実現するまでは本当の安らぎは訪れないことは明らかです。同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界のほかの数十の紛争地域にも当てはまります。

平和とは、希望が根づくための土壌です。

人びとの間に新しいつながりを築き、共通点を求めて新しい機会を見つけるたびに、この土壌が耕されます。これからの1年間、私たちはバーチャルな国際交流を導入します。これについては、今週後半にお知らせします。

ロータリーでは、平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対話の結果として生まれるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。ロータリーでは、すべての重点分野にわたる全活動が、希望を築く一助となり、それによって平和と償いが可能となります。

2006年、私はタイのバーン・タリングチャン村を訪れました。そこでは、2004年末の津波の後で、ロータリー会員が新しい家や集会場、保育所、医療施設の建設にあたっていました。そこで、ある女性が私に近寄ってきました。悲劇に直面した彼女は、やつれた様子でした。その女性は、私に美しい貝殻をくれました。

この貝殻は彼女が30年以上持ち続けていたものだと言います。数少ない所持品の一つだったこの貝殻を受け取ることを、最初はためらいました。しかし彼女は、ロータリーがしてくれたことへの感謝のしるしとして受け取ってほしいと言い張りました。後日、私は再びその女性に会い、彼女が津波で夫、娘、息子を失ったことを知りました。津波がすべてを奪ったのです。家族、家、生計を失い、そして何よりも、生き続ける希望と理由を失いました。しかし彼女は、地域社会を建て直すロータリーの活動のおかげで前向きな気持ちを取り戻し、希望が与えられたと言いました。

これは美しい貝殻です。私が次年度のテーマとその意味を検討していたとき、この貝殻だけでなく、存命するスコットランドの最も偉大なアーティストの一人で、Jolomo としても知られるジョン・ロウリー・モリソンさんがよく使用する色にも引き付けられました。私は長年、彼の作品を愛し、収集してきました。ネクタイとスカーフの色を選んでいたとき、後ろのスクリーンでご覧いただけるように、そこに世界の色を反映させ、さらに重要なこととして、次年度にロータリーが注力すべきことを反映させたいと思いました。

タイの女性との思い出とこれらの色から、私は、今私たちが何をなすべきか、どんな行動を呼びかけるべきか、テーマは何であるべきかに気づきました。そこで、2023-2024年度テーマは「世界に希望を生み出そう」であることをここにお知らせします。

世界に希望を生み出そう。これが、ロータリーが世界に変化をもたらす方法です。私たちは、一つずつ新たな希望を生み出しています。このテーマはまた、自分自身の中で同様の変化を生むのを促す方法を説明するものでもあります。なぜなら、地球上の多くの人にとって、希望を失う理由は物質的な貧困だけではないからです。私たちは皆、自分たちの幸せを脅かす課題に直面しています。平和の実践に大きな勇気が必要であるのと同じように、誰かに助けを求めたり、助けを必要としていることを認めたりすることも勇気ある行動です。

新型コロナウイルス流行の結果として、これまで以上に多くの人々が傷ついています。多くの人が身近な人を失ったり、社会的つながりを断たれたりしています。分裂が広がり、つながる機会が失われています。最も傷ついている世代の一つが、教育や対人スキルを身につける機会が妨げられた子どもや若者です。さらに悪いことに、世界の多くの地域では、助けを求めること、特にメンタルヘルスの助けを求めることは弱さであると考えられています。しかし、真実から目をそむけることはできません。自分の弱さを認め、すべての答えを知っているわけではないと認めるのは、勇気が要ることです。助けを求めることは勇気ある行動であり、幸せへの道を求めることは、さらに勇気が要ることです。

今週の後半、私がメンタルヘルスのトピックを重視する理由をご説明します。次年度、そして願わくばそれ以降も、ロータリーの会員だけでなく地域社会の人びとのためにメンタルヘルスのシステムを改善するいくつかのステップについて話をお聞きいただきます。私は、ロータリーが会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるようになってほしいと思います。メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と。

ほかの人を助けることで、ストレスが軽減され、気分がよくなり、私たち自身のメンタルヘルスと幸せのためにもなることが、圧倒的な証拠で示されています。その中で培われる友情は、素晴らしい連帯意識と仲間意識を育み、それ自体がメンタルヘルスと幸せに欠かせない要素となります。

ですから、次年度の私たちの計画は、世界に平和にもたらし、紛争の影響を受けた人びとを癒すこと、そして、私たち自身の内面的な闘いと向き合うためにお互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです。

これらの活動すべてにおける目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。あらゆる地域からのロータリーのリーダーである皆さんに、世界に希望を生み出すよう、心からお願い申し上げます。

「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」

2023-2024年度
国際ロータリー第2820地区
ガバナー　**大久保　博　之**
（水戸ＲＣ）

ガバナーを拝命しました水戸ロータリークラブの大久保博之です。１年間ガバナーを務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

ロータリー運動の主役はクラブです。そして地区は応援団です。

応援団として、地区内全クラブに共通する課題を提起し、モデル事業を行う責任があると考えました。今年の私の考える全クラブ共通の課題とは「地域の活性化」です。「活性化」とは一言で言えば街に出てくる人を増やすことです。人が増えれば消費は増える。少子化の現代では居住人口はなかなか増やせませんが、就業人口、就学人口、買い物人口、観光・コンベンション人口は努力次第で増やせます。ましてや茨城県は 47 都道府県中、魅力度下位の常連？です。魅力的なところは多いのに、人は来ない。奥ゆかしい県民性で、相手に売り方、見せ方が下手なのかもしれません。

それらを勘案し、今年度は各クラブから２つずつ、おすすめの魅力的スポット、コンテンツを出していただき紹介するガイドブック、ミシュランならぬ「見て覧（ミテラン）」を制作します。

これは広く茨城県のアンテナショップや、図書館、県外の各地区に配布し訪れていただくツールにしたいと思います。「まちが磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」のです。

私たちが国際団体の一員であり、国際認証を受けているクラブである以上その責務として世界と連帯しこれらのグローバルな課題にも目を向けていきましょう。折々のチャンスに奉仕活動を加速していきたいものです。地区は応援団としてガイド役も務めます。一人一人が充実したロータリーライフをおくれますよう、各クラブ会長と手を携えて進んでまいります。

■ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長テーマ（サウス・クイーンズフェリーＲＣ スコットランド）

世界に希望を生み出そう　CREATE HOPE in the WORLD

優先事項１　平和の推進

講演でマッキナリー氏は問題を抱える国で平和を推進し、紛争を受けている人々はもちろんウクライナだけではなく、イエメン、アフガニスタン、シリアをはじめ世界の多くの地域で平和が実現しない限り本当の安らぎは実現しないと述べられました。「平和とは希望が根付くための土壌です。」と述べておられます。

優先事項２　メンタルヘルスの推進

新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている人たちに、ロータリーは希望を与えるべきだと述べました。多くの人が家族を失い、社会的つながりが絶たれ特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。これに対して次年度以降ロータリーはメンタルヘルスサービスの改善に取り組んでいくと述べられました。「メンタルヘルス専門家ならだれでも口をそろえてこう言うでしょう。他の人を助けることで本質的に自分自身が助けられるのだ。」

優先事項３　ポリオのない世界の実現

地区ガバナーにポリオのない世界の実現の為にさらにできることを提供していきましょう。インパクトある推進をお願いします。

優先事項４　過去のリーダーの取り組みへの継続

過去のリーダーたちが始めたイニシアチブの継続で、2021-2022年度シェカール・メータ会長の取り組んだ「女児のエンパワーメント」やロータリー全体で取り組む DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」の推進などを継続するように求められました。

地区幹事あいさつ

国際ロータリー第2820地区
2023－2024 年度　地区幹事
髙原　　裕（水戸ＲＣ）

この度、国際ロータリー第 2820 地区 2023–2024 年度の地区幹事を拝命いたしました、水戸ロータリークラブの髙原裕です。

諸先輩や歴代の地区幹事のご指導をいただきながら、その責務を全うしていきたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

又、３月に開催した地区チーム研修セミナーそして４月会長エレクト研修セミナー・地区研修・協議会は当 2820 地区内クラブ･会員の皆様の絶大なるご支援のお陰で無事に終了することが出来ました。感謝申しあげます。

いよいよ、７月１日から 2023–2024 年度が始まりました。大久保博之ガバナーの地区スローガンである「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」の実現に向けて、地区として各クラブの皆様に出来る限りのご支援をしてまいります。一年間、どうか宜しくお願いいたします。

地区会計長あいさつ

国際ロータリー第2820地区
2023－2024 年度　地区会計長
増山　英和（水戸ＲＣ）

2023–2024年度地区会計長を拝命いたしました、水戸ロータリークラブの増山英和です。地区研修・協議会において、地区資金及び基金・協力金予算をご承認いただきありがとうございました。皆様からお預かりした貴重な資金を適切に管理し、大久保ガバナー年度における活動の円滑かつ適正な運営、活用に努めて参ります。ガバナー公式訪問等で地区の皆様にお会いできることを楽しみにしております。本年度、更なるご支援とご協力、ご指導をお願い申し上げます。

■ ガバナー地区スローガン

「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」

具体的目標

1．茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」の作成

茨城の魅力度下位の問題意識を受けて、各クラブ一押しのコンテンツを出していただき地区の社会奉仕委員会と、クラブの社会奉仕委員会が連動してガイドブックを作成する。地区補助金を活用。**（社会奉仕委員会）**

2．世界平和の為のウクライナ支援事業

グローバル補助金を活用。さらに地区ひとり1,000円の寄付を依頼。**（ロータリー財団委員会）**

3．メンタルヘルスの推進

月信やセミナーの開催を通して会員の理解を深め啓蒙する。さらには会員企業に役立ててもらう実践例を紹介する。**（職業奉仕委員会）**

4．ポリオ根絶のための運動の加速

一人30ドルの寄付の推進。分区単位でよりインパクトのあるポリオ根絶の啓蒙イベントの実施・一般の募金活動を推進する。**（ガバナー補佐）**

5．公平性の高い財団寄付の推進

全クラブにお願いする。

1）年次寄付150ドル
2）ポリオ30ドル
3）ウクライナ支援1,000円
4）PHS100名維持
5）ベネファクター各クラブ１名

6．環境の保護

環境月間（４月）に向けて活動する。

環境の保護は、ロータリーの重点分野の一つです。天然資源を保全・保護し、環境の持続可能性を高め、地域社会と環境との調和を促す活動を支援する。

7．ロータリー希望の風奨学金推進

公式訪問時に一人1,000円の寄付を依頼

8．青少年育成事業

ローターアクト運営研究・ライラ実施・インターアクト支援・青少年交換**（青少年奉仕委員会）**

9．国際社会への貢献

グローバル補助金を活用した国際貢献。奨学生の支援**（国際奉仕委員会）**

10. 米山奨学生支援
一人25,000円の寄付（**米山記念奨学会委員会**）

11. 会員基盤の向上（**クラブ奉仕委員会**）
① 会員増強セミナーの実施
（50名以上のクラブ純増２名以上）
（50名未満のクラブ純増１名以上）
② クラブサポート RLI の実施
③ 公共イメージの向上
④ My Rotary の加入促進
⑤ 全クラブ RI 会長賞達成の支援

12. ロータリーカードの推進（**ロータリー財団委員会**）

■ ガバナー補佐の皆様へお願い

① 公式訪問前に訪問をお願いします。
１回目は就任後すぐにご挨拶
・クラブの情報収集（優れた運動や困っている点など）
２回目はガバナー公式訪問直前に
・公式訪問依頼（一押しコンテンツのリサーチをお願い致します。）
・ガバナー方針（特にミテラン）の広報
・ポリオ分区事業の広報
３回目は公式訪問
４回目は公式訪問後
・公式訪問の御礼
・分区ポリオ事業について・ＩＭについて
② 分区単位でのポリオイベント
ポリオデー 10月24日（火）前後に開催。ポリオ根絶に向けた啓蒙イベントを分区で開催してください。一般の募金も併せてお願いします。（例･祭りに乗じて分区内全クラブ合同でブースを出す。神社に全クラブ集まって祈願する。全クラブ合同でチャリティコンサートを催すなど）
③ 茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」の分区内提案のクラブ間調整

■ 総括委員長の皆様へのお願い

① 職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の研修会は合同で一日で行います。
一回という意味ではありません。
職業奉仕の委員会は今年はメンタルヘルスを中心に開催ください。
② 研修会は全員、動画やパワーポイントを使いビジュアルに説明してください。
研修会が楽しくなるように、退屈でつまらない、よくわからない、為にならないなどの評価が出ないように毎回のアンケートを取ってください。スマホで簡単にできる評価のソフトは事務局で作成します。
③ 研修会は基本対面で行います。
コロナが５類相当に分類されましたので研修会は基本対面で行います。

第１分区

2023−2024 年度
第１分区ガバナー補佐

鹿志村　高道
（日立南ＲＣ）

2023−2024 年度大久保博之ガバナー年度第１分区ガバナー補佐を拝命いたしました、日立南ロータリークラブの鹿志村高道でございます。茨城の県北地域に存在しております第１分区ですが、次年度の大高ガバナーエレクトに向けての重要な１年と考えております。年度後半からは県北地域を中心にさまざまなセミナーが行われます。第１分区の各クラブの皆様と連携しながら、スムーズな流れで大高ガバナーエレクト年度に引き継ぎたいと考えております。

私自身は地区の委員を経験した事がなく、昨年のガバナー補佐の会議に始まり、ガバナー補佐・統括委員長合同会議、そしてＤＴＴＳ、ＰＥＴＳ、ＤＴＡ等の会議に出席し、ガバナー補佐としての職務を全うすべく日々勉強している所でございます。

さて今年度のゴードンＲ．マッキナリー国際ロータリー会長テーマが「世界に希望を生み出そう」でした。

未だ世界中で紛争があり「平和とは希望が根付くための土壌です」と述べられており、メンタルヘルスの推進、ポリオのない世界の実現、そして「多様性･公平さ･インクルージョン」の推進を継続するように求められました。

また、大久保博之ガバナーの地区スローガン「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」という事を掲げられ、まず各々クラブが元気に活動すれば、街、自分自身、そして世界を彩るとしております。

そのための 12 項目が示された訳ですが、特に茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」の作成については各クラブの一押しのコンテンツを出していただいて、それを第１分区の会長・幹事の方々、そして社会奉仕委員会の方とよくすり合わせをして、よりよいガイドブックにしていきたいと思います。ポリオ根絶のための運動の加速については、どこかのお祭りに第１分区のロータリーとしてブースを出し、そこでポリオ根絶の啓蒙イベントを実施しようと考えております。

また、その他の項目につきましても、その１つ１つが達成できるように微力ながらガバナー補佐としてお手伝いができればと考えております。そして会長・幹事の皆様とよく話し合い、ガバナーの考えをクラブにご理解いただき、また各クラブの意見をガバナーにお伝えする架け橋になるように努力していきたいと考えております。その先に大高エレクト年度の活性化に繋がればよいと考えております。

１年間どうぞよろしく御願い申し上げます。

日立ＲＣ

会長 弓山　智廣　　幹事 松野　雅章

日立南ＲＣ

会長 川村　昌弘　　幹事 髙島　章行

高萩ＲＣ

会長 小谷松政紀　　幹事 平野　浩司

北茨城ＲＣ

会長 椿　眞里　　幹事 細田　鉄一

日立港ＲＣ

会長 鈴木　崇久　　幹事 照沼　明美

日立北ＲＣ

会長 藤田　和弘　　幹事 城戸　康

日立中央ＲＣ

会長 瀬谷　淳　　幹事 相馬　志乃

第２分区

2023−2024 年度
第２分区ガバナー補佐
磯﨑　　孝
（那珂湊ＲＣ）

2023−2024 年度国際ロータリー第 2820 地区第２分区ガバナー補佐を拝命いたしました、那珂湊ロータリークラブの磯﨑孝です。微力ではございますが、諸先輩方のご指導をいただきながら、精一杯務めさせていただきます。大久保年度のスローガンは、「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」であり、各クラブが頑張って元気に活動する、地区は連絡・調整・啓蒙・情報提供・研修が中心であり、地区事業はクラブに波及できるものとお話しております。

ガバナー補佐の事業計画として
1. クラブの一押しのコンテンツを集めた
　「見て覧（ミテラン）」の作成総括
2. ウクライナ支援 新井年度からの活動を継続
3. ポリオ根絶のための分区ごとの運動の企画
4. ロータリーの希望の風奨学金の応援
5. ロータリー賞 全クラブ達成

第２分区は設立順に那珂湊ロータリークラブ、常陸太田ロータリークラブ、大子ロータリークラブ、大洗ロータリークラブ、勝田ロータリークラブ、東海那珂ロータリークラブ、ひたちなかロータリークラブ、以上７クラブで形成されています。各クラブの活動が地域にありますが、速やかに継続されるように見届けてまいります。よろしくお願いいたします。各クラブの活動が活発になり、ガバナーの思いを地域にとどけられることを目指してまいりたいと思います。

那珂湊ＲＣ

会長 常盤　昌敬

幹事 金子　明夫

常陸太田ＲＣ

会長 野内太台克

幹事 石川　　剛

大子ＲＣ

会長 杉　　雅幸

幹事 鈴木　芳郎

大洗ＲＣ

会長 小野瀬勝義

幹事 飛田　幸男

勝田ＲＣ

会長 村邊　等巳

幹事 小橋川　祥

東海那珂ＲＣ

会長 田中　宏和

幹事 佐藤　広道

ひたちなかＲＣ

会長 大曽根理一郎

幹事 鈴木　靖雄

第３分区

2023−2024 年度
第３分区ガバナー補佐

井澤　卓司
（水戸南ＲＣ）

「最も強い者が生き残るのではない。最も賢い者が生き延びるわけでもない。唯一生き残るのは変化できるものである」チャールズ・ダーウィン『種の起源』の有名な一節です。国際ロータリーが社会の変化や時代のニーズに柔軟に対応した故、二度の世界大戦や恐慌を乗り越えたと思います。創設期のロータリーは相互扶助的「１業種１人」の閉鎖的なサークルから、シカゴでの公衆便所の設置に象徴される社会奉仕活動を契機に、アメリカ始め全世界に急拡大しました。

こうした国際ロータリーの在りかたに、日本のシニア・ロータリアンは職業倫理を重視する立場から『ロータリーの友』に様々な意見を寄せています。ＤＥＩや中核的価値観の Diversity（多様性）を、私は人種、性別、年齢では無く「考え方」と捉え、ロータリーの概念や運動の多様性を許容すると解釈しています。

社会運動において多数を獲得できるか否かは、組織の存亡を左右する重要課題です。国際ＲＩは規定審議会ごとに標準クラブ定款を緩め、より多くの会員を獲得すべく涙ぐましい努力を重ねております。これの賛否はともかく、第 2820 地区では多くのクラブが例会や出席に関して、定款・細則を変更せず従来通りのクラブ運営を続けています。これも是とする懐の深さがロータリーの魅力です。敢えて垣根を下げ、高潔かつ「奉仕の志」を抱く人材の多くを囲い込む、国際ＲＩのしたたかさにエールを送ります。

ゴードンＲ．マッキナリー国際ＲＣ会長の「世界に希望を生みだそう」のテーマのもと大久保博之ガバナーは「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」を地区スローガンに掲げました。

具体的目標として
①茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」の作成
②分区単位でのポリオイベントの開催
を呼びかけました。

これらをロータリーの外部にも拡大し、盛大かつ賑やかに実施する予定です。

またガバナー補佐の挨拶訪問では、各クラブの戦略計画や将来のビジョンについて意見を交わし、ロータリー賞の継続受賞を目指したいと思います。

水戸ＲＣ

会長 清水　洋一　　幹事 土子　仁志

笠間ＲＣ

会長 稲見　仁史　　幹事 永田　康弘

水戸西ＲＣ

会長 小柴　庄市　　幹事 中山　眞矢

水戸南ＲＣ

会長 石川　啓司　　幹事 赤岩　賢二

友部ＲＣ

会長 茅根　佳和　　幹事 内桶　克之

水戸東ＲＣ

会長 槐　登志夫　　幹事 大津　正夫

水戸さくらＲＣ

会長 岡田　晃　　幹事 平山　哲也

水戸好文ＲＣ

会長 石井　慎子　　幹事 森田　冴子

第４分区

2023−2024 年度
第４分区ガバナー補佐

髙橋　采子
（古河東ＲＣ）

この度　第４分区のガバナー補佐を拝命致しました髙橋采子でございます。1997 年に古河東ロータリークラブに入会し、2010 ～ 2011 年にクラブの会長をさせていただきました。古河東ロータリークラブから山崎ＰＤＧを輩出した年度で、地区大会の寸前に東日本大震災に見舞われ、地区大会を取りやめ、被災地の復興支援に奔走し、大変貴重な経験をさせていただきました。

昨年 12 月のガバナー補佐研修会を皮切りに大久保博之ガバナーやパストガバナーのご指導の元、沢山勉強させていただいております。

ゴードンＲ．マッキナリー国際ロータリー会長のテーマは「世界に希望を生み出そう　CREATE HOPE in the WORLD」で、大久保博之ガバナーの「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」のスローガンに沿って、私は『輝くクラブで　楽しい奉仕』というテーマを掲げました。大久保博之ガバナーは次の 10 項目の活動目標をお示しになりました。

①茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」の作成（社会奉仕委員会）
②世界平和のためのウクライナ支援事業（ロータリー財団委員会）
③メンタルヘルスの推進（職業奉仕委員会）
④ポリオ根絶のための運動の加速（事務局・分区代理）
⑤公平性の高い財団寄付の推進（ロータリー財団委員会）
⑥ロータリー希望の風奨学金推進（事務局）
⑦青少年育成事業（青少年奉仕委員会）
⑧国際社会への貢献（国際奉仕委員会）
⑨米山記念奨学生支援（米山記念奨学会委員会）
⑩会員基盤の向上（クラブ奉仕委員会）

特に①の茨城ガイドブック「見て覧」作成のための情報収集として２月には　本年度の会長幹事にお集まりいただき、１クラブ２個の一押しコンテンツをお示し頂きました。又、④のポリオ根絶のための広報と募金活動を 10 月 24 日のポリオデー近辺でインパクトのあるイベントを開催し、一般人も巻き込んだ募金活動と啓蒙活動を開催するようにということで、早速　第４分区内の会長幹事さんと協議致しまして、古河市の秋祭りに合わせて開催することに決定いたしました。第４分区内の会長幹事さんをはじめとして会員皆様のご支援とご協力を頂きながら、大久保ガバナーと各クラブの懸け橋としてお役目を全うし、楽しいロータリー活動に専念するつもりでおりますので、より一層のご指導、ご鞭撻をお願いし、ガバナー補佐就任のご挨拶とさせていただきます。

古河ＲＣ

会長 森田　一雄　　幹事 宮内　則雄

境ＲＣ

会長 小松原　裕　　幹事 櫻井　幹也

岩井ＲＣ

会長 張替　貞夫　　幹事 後藤みちよ

古河東ＲＣ

会長 武澤　郁夫　　幹事 福田　優子

古河中央ＲＣ

会長 森　雅美　　幹事 沼田　剛

第５分区

2023−2024 年度
第５分区ガバナー補佐

軽部　守彦
（下妻ＲＣ）

この度、第 2820 地区第５分区のガバナー補佐に就任致しました、下妻ロータリークラブの軽部守彦でございます。

まだまだ経験不足でありますが、大久保ガバナーの補佐役として一生懸命努力する所存でございますのでよろしくお願いいたします。

第５分区は下館ＲＣ（宮田会長）、結城ＲＣ（石嶋会長）、真壁ＲＣ（皆川会長）、下妻ＲＣ（富岡会長）、しもだて紫水ＲＣ（百目鬼会長）、筑西きぬＲＣ（坂入会長）、岩瀬ＲＣ（市村会長）と下館さくらＲＣ衛星クラブ（内山議長）、下妻砂沼湖畔ＲＣ衛星クラブ（久嶋議長）から成る分区です。この各クラブが効果的に運営されるようサポートする事で、ガバナーを補佐したいと考えていますが、その為にもそれぞれのクラブの弱みや強みをくみとり目標に向けた進捗をガバナーに伝えて行ければと思っています。

本年度のＲＩ会長　ゴードンＲ．マッキナリー氏のテーマが「世界に希望を生み出そう」と発表されました。

そして、大久保ガバナーは「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」と言うスローガンに対し、第５分区では下の句として「クラブを磨けば、メンバーが輝き、わが街を彩る」というテーマを設けました。これはクラブ内の活動を活性化すれば、会員自身がロータリアンとしての自覚をもって、ロータリーに対する理解が深まり曳いてはクラブの所在する街が魅力を持つという意味です。上の句であるガバナーの方針をしっかり実現することによって、新たなロータリーの形が見えてくればと考えています。

今年もガバナー公式訪問が早いため、各クラブへの表敬訪問６月中に前ガバナー補佐と一緒に回らしていただき、事前訪問を７月 20 日の下館ＲＣからスタートし各クラブを回り、９月６日岩瀬ＲＣに訪問、公式訪問日程も８月２日の下館から９月 13 日岩瀬ＲＣの間に訪問日程が全て決定しました

又、第５分区ＩＭの日程も令和６年２月 24 日㈯と決めました。

ＩＭリーダーも私の会長時のガバナーであり、ＲＬＩ 2820 地区代表である高橋パストガバナーになりました。そこでＲＬＩの体験セミナーを開催したいと思います。コロナも明けて懇親会も企画したいと思いますので、是非ご参加ください。

下館ＲＣ

会長 宮田　憲一　　幹事 堀江　　勤

結城ＲＣ

会長 石嶋　雅司　　幹事 四宮　英男

真壁ＲＣ

会長 皆川千代二　　幹事 檜佐　光信

下妻ＲＣ

会長 富岡　致知　　幹事 宇田川真由美

しもだて紫水ＲＣ

会長 百目鬼芳子　　幹事 倉持　悦子

筑西きぬＲＣ

会長 坂入　　博　　幹事 長沢　　廣

岩瀬ＲＣ

会長 市村　雅道　　幹事 藤井　宗一

第６分区

2023−2024 年度
第６分区ガバナー補佐

鶴田　一郎
（土浦ＲＣ）

①　自己紹介

2023−2024 年度・第６分区ガバナー補佐を拝命いたしました鶴田一郎と申します。土浦ロータリークラブの会員です。入会は、平成 11 年 11 月 26 日です。2021−2022 年度で会長を務めました。

②　ガバナー補佐の役割について

ＲＩ会長テーマ「CREATE HOPE in the WORLD」、ガバナースローガン「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」を活動の基と致します。

ガバナー補佐の役割は、分区内のクラブと地区を結びつける事、又（ロータリー章典）分区内クラブが発展する様に支援する事です。又、ロータリーの友にある様に、会員にとっての「居心地の良さと配慮」を享受する情報等の交換を行い、会員の満足度を高めたいと思います。以上を目標に活動したいと思います。分区内の協同活動として「見て覧」作成のお手伝い、ポリオデーのイベントを計画しています。第６分区は第 2820 地区内、最大の９クラブが属しています。各クラブは特徴ある有意義な奉仕活動を計画しています。その活動計画を分区内の全クラブで共有し、他のクラブやメンバーが自クラブ外の活動に参加できるような機会を作ります。この事で分区内のクラブとメンバーの親睦・交流が図れ、奉仕活動に対する知識が豊富になる事と思います。

③クラブ訪問と会長・幹事会について

クラブ訪問を４回程度（公式訪問を含む）予定しています。会長・幹事会は数回予定しています。クラブ訪問は、地区とクラブの活動についての情報交換や意見交換をする場ですので、各クラブの活動がより良い物になる様に事前の打合せを十分に行います。

会長・幹事会は分区内クラブの交流が直接図れる場所ですので、活動内容や参加依頼等の情報を交換出来るプログラムにいたします。

以上、ガバナー補佐としての活動計画の報告をもってガバナー補佐のご挨拶とさせていただきます。

石岡ＲＣ

会長 神生　恭利　　幹事 長谷川孝夫

土浦ＲＣ

会長 小坂　博　　幹事 沼田　真一

土浦南ＲＣ

会長 楠　英夫　　幹事 楢戸　憲一

つくば学園ＲＣ

会長 野澤　俊夫　　幹事 飯泉　智弥

石岡 87 ＲＣ

会長 村田　一晃　　幹事 飯塚　徳和

土浦中央ＲＣ

会長 大峯　浩之　　幹事 緑川　条二

つくばシティＲＣ

会長 遊佐　浩　　幹事 飯島　洋省

阿見ＲＣ

会長 久保谷　充　　幹事 佐藤　勲

つくばサンライズＲＣ

会長 小林　良誌　　幹事 倉持　英子

第７分区

2023−2024 年度
第７分区ガバナー補佐

池田　八郎
（竜ヶ崎ＲＣ）

この度、第７分区ガバナー補佐を拝命いたしました池田八郎と申します。よろしくお願いいたします。

ロータリー歴は 1981 年３月 10 日入会ですので、42 年の長きに渡り、地域の奉仕活動に貢献してまいりました。

今回、三大セミナーに出席し、改めて、地区委員の皆様の御活躍に敬意を称しました。

本年度ゴードンＲ．マッキナリー国際ロータリー会長テーマ
CREATE HOPE in the WORLD（世界に希望を生み出そう）

第 2820 地区ガバナー大久保博之様は「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」を地区スローガンとして掲げました。

具体的目標を
1. 茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」の作成
2. 世界平和の為のウクライナ支援事業
3. メンタルヘルスの推進
4. ポリオ根絶のための運動の加速
5. 公平性の高い財団寄付の推進
6. 環境の保護
7. ロータリー希望の風奨学金推進
8. 青少年育成事業
9. 国際社会への貢献
10. 米山奨学生支援
11. 会員基盤の向上（クラブ奉仕委員会）
12. ロータリーカードの推進（ロータリー財団委員会）

をあげております。

この原稿を書いておりますのが、４月 25 日ですので、これから第７分区の各クラブを訪問し、よりよいコミュニケーションをとりながら、各クラブの活動方針、分区内の共通の奉仕事業を決め、ガバナーに報告するよう努めてまいります。

ロータリー歴は長いですが、地区の皆様との関係が新人ですので、これから、勉強しながら１年間努めてまいります。 よろしくご指導ください。

竜ヶ崎ＲＣ

会　長
島倉　秀也

幹　事
西村　秀明

水海道ＲＣ

会　長
松崎　隆詞

幹　事
石塚　利明

取手ＲＣ

会　長
久保田春康

幹　事
鴻巣　智和

牛久ＲＣ

会　長
川田志津子

幹　事
川島　紀文

守谷ＲＣ

会　長
片桐　武美

幹　事
橋本　秀明

龍ケ崎中央ＲＣ

会　長
長友　芳郎

幹　事
川上　　勉

第８分区

2023−2024 年度
第８分区ガバナー補佐

荒井　一美
（玉造ＲＣ）

2023‐2024 年度国際ロータリー第 2820 地区第８分区ガバナー補佐の荒井です。

ゴードンＲ．マッキナリー国際ロータリー会長テーマ
世界に希望を生み出そう CREATE HOPE in the WORLD
優先事項
１ 平和の推進
２ メンタルヘルスの推進
３ ポリオのない世界の実現
４ 過去のリーダーの取り組みへの継続
の方針の基、大久保ガバナーが出された方針の実現に向けて地区と分区内クラブ及び会員の皆様の補佐役として大切な役割を担うべく努めます。

・大久保ガバナー地区スローガン
「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」
地区スローガン及びガバナー方針を理解して第８分区内クラブの成功のため具体的に次の行動をします。

１．担当クラブを４回程度訪問し会員の声を聴き、情報やアドバイス、参考資料を紹介しクラブの成功の手伝いをします。
２.「元気なクラブつくりのために：クラブ・リーダーシッププラン」で推奨されているベストプラクティスを推進し、クラブリーダーのサポートをします。
３．ガバナーが特に目を向ける必要があるクラブの問題やクラブの現状をガバナーに報告します。
４．ガバナー公式訪問に向けたクラブの準備を手伝います。
５．クラブ目標の達成状況「クラブセントラル」を定期的に活用して随時確認を行いサポートします。

上記以外の大久保ガバナーの地区目標達成のため分区クラブ及び会員一同力を合わせて参ります。

ロータリーは個人奉仕が基本的考えですが、同じ目標を持った集団の力は計り知れない結果をもたらしますので第 2820 地区グループで結果を出していきましょう。

第 2820 地区のグループとして第８分区各クラブと「共に」をスローガンとして連携・行動してまいりますのでよろしくお願いします。

鉾田ＲＣ

会　長
加藤　健司

幹　事
円谷　俊介

鹿島臨海ＲＣ

会　長
井上　富雄

幹　事
根本恵理子

玉造ＲＣ

会　長
坂本　俊彦

幹　事
阿部　　剛

波崎ＲＣ

会　長
篠塚　茂男

幹　事
西條　健一

鹿島中央ＲＣ

会　長
笹本　辰男

幹　事
内田　敬子

分区所属なし

茨城ロータリーＥクラブ

会　長
牧田　　英

幹　事
Ignatochkina Anna Vladimirovna

地区年間予定表（前期）

2023年

日	曜	7　月	曜	8　月	曜	9　月	曜	10　月	曜	11　月	曜	12　月
1	土		火	友部	金	勝田	日		水		金	
2	日		水	下館	土	つくばサンライズ	月		木		土	
3	月		木	日立港	日		火		金	文化の日	日	
4	火		金	玉造	月		水	土浦中央	土	第1回会長幹事会	月	
5	水		土	米山世界大会	火	真壁	木	土浦	日	地区大会	火	
6	木	つくば学園	日	My Rotary勉強会 米山世界大会	水	常陸太田	金		月		水	
7	金		月	水戸さくら	木	大洗	土		火		木	
8	土	クラブ奉仕研究会	火	しもだて紫水	金		日		水		金	
9	日	第1回諮問委員会	水	大子	土		月	スポーツの日	木		土	第2回諮問委員会
10	月		木		日		火		金		日	
11	火		金	インターアクト 年次大会	月	那珂湊	水	石岡	土		月	
12	水	古河中央	土		火	竜ヶ崎	木	石岡87	日	地区親善野球大会	火	
13	木	笠間	日		水	岩瀬	金		月		水	
14	金	龍ケ崎中央	月		木	波崎	土		火		木	
15	土	奉仕Pリーグセミナー	火		金	古河	日		水		金	
16	日		水		土		月	牛久	木		土	G補佐・総括 委員長会議
17	月	海の日	木	下妻	日		火	土浦南	金		日	
18	火	日立	金	守谷	月	敬老の日	水	つくばシティ	土		月	
19	水		土		火	ひたちなか	木	水戸好文	日		火	
20	木	境	日		水	高萩	金	水戸南	月		水	
21	金		月	日立中央	木	鹿嶋中央	土	茨城Eクラブ	火		木	
22	土	R財団研究会	火	日立南	金	鹿島臨海	日		水		金	
23	日	青少年奉仕研究会	水	日立北	土	G補佐・総括合同会議	月		木	勤労感謝の日	土	
24	月		木	筑西きぬ	日		火	古河東	金		日	
25	火	北茨城	金		月		水	水海道	土		月	
26	水	東海那珂	土		火		木	阿見	日		火	
27	木		日	米山記念奨 学会セミナー	水	水戸西	金		月		水	
28	金		月	岩井	木	水戸東	土		火		木	
29	土		火	鉾田	金		日		水		金	
30	日		水	結城	土		月		木		土	
31	月		木	取手			火	水戸			日	

ガバナー公式訪問に関するお願い

公式訪問は、年間予定表（前頁参照）の通り 2023 年７月６日㈭から始まります。貴クラブへの訪問を実り多きものにするために、次の事をご準備、お手配下さいますようお願い申し上げます。

１．公式訪問の際の必要書類

クラブ現況報告書

「公式訪問のためのクラブ現況報告書記載要領」（後項６）に準拠して作成の上、訪問日の３週間前までにガバナー事務所へ４部（ガバナーエレクト事務所と奉仕プロジェクト委員会へ各１部お渡しします）、所属分区ガバナー補佐へ１部お送り下さい。

２．公式訪問の日程について

クラブ活動実施場所及び「見て覧（ミテラン）」

一押しコンテンツ等の見学	10：00～11：00
会長・会長エレクト・幹事との協議会	11：00～12：00
例会出席	12：30～13：30
クラブ協議会	14：00～16：00

＊公式訪問において懇親会はご遠慮させていただきます。

備考

⑴　公式訪問は原則として日帰りを予定しております。宿泊の際には、後日ご相談いたします。

⑵　クラブ例会には、多くの会員に出席を奨励して下さい。

⑶　クラブ協議会の出席者において、クラブ理事、役員及び各委員長（欠席の際は副委員長または代理者）義務出席です。特に入会３年未満の会員は原則として出席させて下さい。

⑷　クラブ協議会の司会は会長がお務め下さい。

⑸　当日の日程スケジュールが出来ましたら、事前にガバナー事務所までお知らせ下さい。但し、集合時間・場所につきましては、１ヶ月前のご連絡をお願いいたします。

クラブ定例会報告カレンダー

	報　告　事　項	報　告　期　間	報　告　先	備　　考
1	半期報告及びその他関係書類	2023年7月1日 2024年1月1日	RIウェブサイト (写)ガバナー事務所	My Rotaryで報告
2	会員増強報告	毎月最終例会日 修正はその後14日以内	ガバナー事務所及び ガバナー補佐	用紙は地区HPから ダウンロード
3	クラブ目標の設定	2023年5月中	RIウェブサイト	ロータリークラブ・セントラルにて
4	クラブ現況報告書	公式訪問3週間前	ガバナー事務所(4部) 所属分区ガバナー補佐(1部)	持参または郵送
5	次年度会長・幹事報告 (公式名簿への記載情報)	クラブ役員選挙後2週間以内(最終12月まで)	RIウェブサイト ガバナー事務所	My Rotaryで報告
6	国際大会委任状	4月末日まで	ガバナーエレクト又は 大会出席の各クラブ代議員	用紙はオンラインで RIから送信
7	地区大会選挙人証明書	地区年次大会まで	地区大会選挙会	(参考)RI細則第15.050節
8	会員データの更新 (入会・退会・職業分類の変更)	発生の都度	RIウェブサイト ガバナー事務所	My Rotaryで報告
9	クラブ・役員のデータの更新 (クラブ会長・幹事の変更、例会場・日時・場所・事務所の変更、インターアクト・ローターアクト関係の報告)	発生の都度	RIウェブサイト ガバナー事務所 (オンラインで送れないものはガバナー事務所へ送付)	My Rotaryで報告
10	ロータリー財団に関する文書	発生の都度	RI日本事務局財団室	オンライン提出
			ガバナー事務所	地区研修・協議会資料参照
11	米山記念奨学会に関する文書	発生の都度	公益財団法人米山記念奨学会、ガバナー事務所	地区研修・協議会資料参照

住　所　録

ROTARY INTERNATIONAL(国際ロータリー世界本部)

One Rotary Center 1560 Sherman Avenue
Evanston Illinois 60201 U.S.A
TEL(日本より)011-010-1-(847) 866-3000
FAX(日本より)011-010-1-(847) 328-8554/8281

国際ロータリー日本事務局

〒108-0073　東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24F
▼Tel・E-mail
クラブ・地区支援室　03-5439-5800　rijapan@rotary.org
財　団　室　03-5439-5805　rijpntrf@rotary.org
経　理　室　03-5439-5803　rijpnfs@rotary.org
業務推進・ＩＴ室　03-5439-5802　rijpnpi@rotary.org

ガバナー会

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル4F
TEL 03-3433-6497　FAX 03-3433-7395

㈶ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル3F
TEL 03-3434-8681　FAX 03-3578-5956

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル4F
TEL 03-3436-6651　FAX 03-3436-5956

地区資金及び基金・協力金の概要

1．基本方針

1）地区分担金は、一人当たり年間 22,440 円（前年 22,440 円）とし、前年と同額とする。

（単位：円）

	2023～24年度	2022～23年度	2021～22度	備　考
地区資金	5,230	5,230	5,230	前年と同額
基金・協力金	17,210	17,210	17,210	前年と同額
合計	22,440	22,440	22,440	前年と同額

2）基準会員数は、2022年12月31日現在の在籍会員数を基準とし、1,900名として予算を作成しました。（参考：2022/12末現在1,850名　E クラブ12名含む）

2．概要

1）地区資金の部（案）

収入の部　（単位：円）

	予算額（案）	前年度予算額	前年度比較増減	備　考
前期繰越	6,651,000	4,150,000	2,501,000	
地区資金受入額	9,937,000	10,460,000	▲ 523,000	5,230 × 1,900 名
規定審議会旅費積立取崩	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
計	16,588,000	14,610,000	1,978,000	

支出の部　（単位：円）

	予算額（案）	前年度予算額	前年度比較増減	備　考
委員会活動費	6,120,000	3,210,000	2,910,000	
補助金	4,850,000	4,950,000	▲ 100,000	
寄付金その他	5,418,000	6,390,000	▲ 972,000	
予備費	200,000	60,000	140,000	
計	16,588,000	14,610,000	1,978,000	

2）基金・協力金の部（案）

収入の部　（単位：円）

	予算額（案）	前年度予算額	前年度比較増減	備　考
繰越金の振替	0	0		
受入金額	32,699,000	34,420,000	▲ 1,721,000	17,210×1,900名
計	32,699,000	34,420,000	▲ 1,721,000	

支出の部　（単位：円）

	予算額（案）	前年度予算額	前年度比較増減	備　考
支出金額	32,699,000	34,420,000	▲ 1,721,000	
計	32,699,000	34,420,000	▲ 1,721,000	

3．主な登録料（案）

（単位：円）

科目	本年度登録料	前年度登録料	備考	前年度比較増減
PETS	1,375,000	1,375,000	\25,000 × 55RC	0
地区研修・協議会	4,430,000	4,386,000	第 2820 地区 55RC　平均会員数：34 名	44,000
			会員20名以下 17RC：@40,000+@800×218名	
			会員30名以下 13RC：@50,000+@800×317名	
			会員40名以下　8RC：@60,000+@800×271名	
			会員41名以上 16RC：@70,000+@800×1,032名	
			Eクラブ　1RC：@20,000+@800×12名	
地区大会	19,000,000	20,000,000	\10,000/人×1,900名	▲ 1,000,000
IM他会合	0	0		0

地区資金予算書

A．収入の部

（単位：円）

科目	2023～24年度（1,900名）	2022～23年度（2,000名）	前年度比較増	2021～22年度（予）（2,000名）	2021～22年度（実）	備考
前期繰越	6,651,000	4,150,000	2,501,000	3,500,000	8,060,800	
地区資金受入額	9,937,000	10,460,000	▲ 523,000	10,460,000	9,781,032	5,230×1,900名
地区大会余剰金	0	0	0	0	139,096	
規定審議会旅費積立取崩	0	0	0	0	600,000	
災害見舞取崩	0	0	0	0	3,262,310	
雑収入	0	0	0	0	248,149	
合計	16,588,000	14,610,000	1,978,000	13,960,000	22,091,387	

B．支出の部

（単位：円）

科目	2023～24年度（1,900名）	2022～23年度（2,000名）	前年度比較増	2021～22年度（予）（2,000名）	2021～22年度（実）	備考
1．委員会活動費等						
クラブ奉仕	800,000	800,000	0	800,000	26,780	
（会員増強）	0	0	0	0	256,380	
（ホームページ管理料）	0	0	0	0	179,404	
奉仕プロジェクト	0	0	0	0	0	
職業奉仕	80,000	50,000	30,000	50,000	43,650	
社会奉仕	2,500,000	50,000	2,450,000	50,000	45,630	
国際奉仕	80,000	50,000	30,000	50,000	0	
（友好地区担当）	100,000	100,000	0	100,000	0	
青少年奉仕	180,000	150,000	30,000	150,000	152,520	
ロータリー財団	300,000	200,000	100,000	200,000	341,698	
米山記念奨学会	180,000	150,000	30,000	150,000	146,047	
ロータリーの友	50,000	10,000	40,000	10,000	840	
戦略計画委員会	100,000	100,000	0	100,000	33,000	
危機管理委員会	100,000	100,000	0	100,000	184,400	
諮問委員会	600,000	600,000	0	600,000	790,762	
研修委員会	100,000	0	100,000	0	0	
ガバナー補佐会議	300,000	200,000	100,000	200,000	289,950	
地区委員長会議	100,000	100,000	0	100,000	0	
RLI	300,000	300,000	0	300,000	185,413	
学友委員会	250,000	250,000	0	250,000	140,445	
小計	6,120,000	3,210,000	2,910,000	3,210,000	2,816,919	

（単位：円）

科　　目	2023～24年度（1,900名）	2022～23年度（2,000名）	前年度比較増	2021～22年度（予）（2,000 名）	2021～22年度（実）	備　　考
2．補　助　金						
地　区　大　会	800,000	800,000	0	800,000	800,000	
地区研修・協議会	500,000	500,000	0	500,000	488,497	
次期会長研修会	250,000	250,000	0	250,000	249,237	
I　M	400,000	400,000	0	400,000	250,000	50,000×8分区
会長・幹事会	400,000	400,000	0	400,000	361,420	
環境保全活動費	0	650,000	▲ 650,000	0	0	
次期ガバナー旅費	800,000	800,000	0	800,000	0	
ガバナー補佐活動費	1,650,000	1,100,000	550,000	1,100,000	1,080,000	30,000×55RC
親睦活動費（野球・ゴルフ）	50,000	50,000	0	50,000	259,728	
規定審議会旅費	0	0	0	0	615,250	
小　計	4,850,000	4,950,000	▲ 100,000	4,300,000	4,104,132	
3．寄付金その他						
ロータリー文庫運営費	570,000	600,000	▲ 30,000	600,000	375,712	300×1,900名
全国ガバナー会費	760,000	800,000	▲ 40,000	800,000	797,010	400×1,900名
平和奨学生支援金	38,000	40,000	▲ 2,000	40,000	0	20×1,900名
旅　費	1,500,000	3,000,000	▲ 1,500,000	3,000,000	2,991,826	
慶　弔　費	100,000	100,000	0	100,000	137,750	
登　録　料	2,000,000	1,500,000	500,000	1,500,000	2,228,000	
監　査　費	30,000	30,000	0	30,000	30,000	
年次報告書作成費	350,000	250,000	100,000	250,000	376,200	
全国ローターアクト研修会積立金	0	0	0	0	0	
災害見舞金	0	0	0	0	3,262,310	
寄　付　金	0	0	0	0	53,599	
雑　費	70,000	70,000	0	70,000	80,238	
小　計	5,418,000	6,390,000	▲ 972,000	6,390,000	10,332,645	
4．予　備　費	200,000	60,000	140,000	60,000	0	
合　計	16,588,000	14,610,000	1,978,000	13,960,000	17,253,696	

基金及び協力金予算書

（単位：円）

科　目	2023-2024 年度（1,900 名）			2022-2023 年度（予）	2021-2022 年度（予）	2021-2022 年度（実）	
	一人当り	収入	支出	収入	収入	収入	支出
	1,900 名			名	名	名	
ガバナー月信協力金	2,720	5,168,000	5,168,000	4,400,000	4,400,000	4,114,246	4,792,360
地区大会負担金	4,000	7,600,000	7,600,000	8,000,000	8,000,000	7,475,840	8,000,000
ガバナー事務所協力金	4,200	7,980,000	7,980,000	8,400,000	8,400,000	7,857,958	8,387,077
青少年交換基金	2,000	3,800,000	3,800,000	4,000,000	4,000,000	3,737,920	458,306
インターアクト基金	800	1,520,000	1,520,000	1,600,000	1,600,000	1,496,616	155,074
ローターアクト基金	800	1,520,000	1,520,000	1,600,000	1,600,000	1,496,616	535,802
ライラ基金	400	760,000	760,000	800,000	800,000	748,308	801,323
青少年育成基金	200	380,000	380,000	400,000	400,000	374,516	0
国際交流共同基金	280	532,000	532,000	560,000	560,000	524,250	0
WCS基金	200	380,000	380,000	400,000	400,000	374,154	0
国際交流基金	1,000	1,900,000	1,900,000	3,040,000	3,040,000	2,843,136	0
ロータリー財団基金（奨学生）	280	532,000	532,000	560,000	560,000	523,888	23,960
茨城海岸美化プロジェクト						90,866	90,866
地球環境保全グローバル						0	3,315,751
地区年鑑積立金	40	76,000	76,000	80,000	80,000	75,048	75,048
災害見舞金	0	0	0	0	0	4,615,263	4,615,263
危機管理基金	200	380,000	380,000	400,000	400,000	374,516	374,516
規定審議会旅費積立金	90	171,000	171,000	180,000	180,000	168,496	168,496
団体協賛基金						0	30,000
小　計	17,210	32,699,000	32,699,000	34,420,000	34,420,000	36,891,637	31,823,842
繰　越						33,856,010	
合　計	17,210	32,699,000	32,699,000	34,420,000	34,420,000	70,747,647	31,823,842

科目間の流用は可とする

送金カレンダー

（単位：円・ドル）

区分No.	内訳	会員 一人当り会費（前期）7月1日	会員 一人当り会費（後期）1月1日	会員 一人当り会費 年度計	新会員 7/2～12/31（在籍月分）1月当たり	新会員 1/2～6/30（在籍月分）1月当たり	1件の金額	記事	送金先
A1	人頭分担金	$37.50	$37.50	$75.00	在籍月数分の請求に応じて			決められたレートで	銀行名 三井住友銀行 新宿通支店 口座名 国際ロータリー 日本事務局 口座番号 普通預金 6733244 後頁の振替口座一覧参照
	規定審議会追加費			$0.00					
A2	ザ・ロータリアン購読料	$12.00	$12.00	$24.00				半期毎AIと共に送金（必要に応じて）	
A3	R I 文献								
A4	ロータリー財団篤志寄付							フェロー等個人寄付	
A5	同クラブ寄付							ミリオンダラー等	
B1	米山奨学会普通寄付	2,500以上	2,500以上	5,000以上					銀行名 三井住友銀行 京橋支店 口座名 ㈶ロータリー 米山記念奨学会 口座番号 普通預金 0920373 TEL 03-3434-8681
B2	同特別寄付							米山功労者個人寄付	
B3	同クラブ寄付							米山月間等にご協力下さい	
C1	ロータリーの友購読料	1,650	1,650	3,300				他のPR用にもご注文下さい	銀行名 三井住友銀行 浜松町支店 口座名 ㈳ロータリーの友事務所 口座番号 普通預金 7450015 問合せ先 ロータリーの友事務所 TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956
C2	同英語版購読料						1,000	会員の10%購読下さい	
C3									
C4	ロータリー手帳								
C5	その他出版物								
	A～C計							消費税・送料別途	
D1	地区資金	2,615	2,615	5,230					銀行名 常陽銀行 本店営業部 口座名 国際ロータリー 第2820地区 会計長 増山英和 口座番号 普通預金 3902990 問合せ先 〒310-0015 茨城県水戸市宮町1-7-20 ホテルテラスザガーデン水戸1F 2023-2024年度 大久保博之ガバナー事務所 TEL 029-246-5766 FAX 029-246-6533 E-mai:23-24@rid2820.jp
D2	ガバナー月信協力金	1,360	1,360	2,720					
D3	地区大会分担金	2,000	2,000	4,000					
D4	ガバナー事務所協力金	2,100	2,100	4,200					
D5	青少年交換基金	1,000	1,000	2,000					
D6	インターアクト基金	400	400	800					
D7	ローターアクト基金	400	400	800					
D8	ライラ基金	200	200	400					
D9	青少年育成基金	100	100	200					
D10	国際交流共同基金	140	140	280					
D11	W C S 基金	100	100	200					
D12	国際交流基金	500	500	1,000					
D13	ロータリー財団基金（奨学金）	140	140	280					
D14	地区年鑑積立金	20	20	40					
D15	災害見舞金	0	0	0					
D16	危機管理基金	100	100	200					
D17	規定審議会旅費積立金	45	45	90					
	D1～D17 合計	11,220	11,220	22,440	1,870	1,870			
E1	地区大会登録料	ホストクラブから各クラブに請求された金額							ホストクラブ指定の預金口座へ
E2	地区研修・協議会登録料								
E3	I M 他会合登録料								
E4	P E T S 登録料								

注）1．整理の都合上、各種ご送金は必ず専用の送金明細書をご記入の上、ガバナー事務所及び国際ロータリー日本事務局経理室へメールにてご連絡下さい。

2．新会員の会費について
国際ロータリー細則第18条（18.040.2）比例人頭分担金に沿うため、地区の会費についても、在籍月数に応じた会費を前期分は12月中に、後期分は６月中にお振込み下さい。

地区会計長　**増山英和**

組織図

地区大会

地区ガバナー
大久保博之（水　戸）

RI会長
ゴードン R. マッキナリー（スコットランド）

規定審議会地区代表議員
髙橋賢吾（水戸西）
規定審議会地区代表議員補欠
池田正純（牛　久）

ロータリーの友委員会特別顧問
ロータリーの友事務所理事
片岡信彦（土浦南）

米山記念奨学会理事
北村　仁（水海道）

ロータリー日韓親善会議委員
長谷川國雄（水戸南）

米山記念奨学会評議員
佐藤　衛（水戸南）

ロータリー文庫運営委員
池田正純（牛　久）

RIJYEM常任委員会委員RIJYEM理事
保延輝文（石　岡）

地区諮問委員会委員

委員	奉仕担当カウンセラー / ガバナー指名委員 / IMリーダー
塙　東男（笠　間）	
吉岡　昭文（つくば学園）	
北村　仁（水海道）	
片岡　信彦（土浦南）	
永井　靖彦（水戸東）	
萩原　亢雄（しもだて紫水）	
佐藤　衛（水戸南）	
井上　壽博（水　戸）	
廣瀬　昭雄（土　浦）	
山崎　清司（古河東）	
野堀　喜作（つくば学園）	
長谷川國雄（水戸南）	
藤居　彰一（日　立）	クラブ奉仕担当カウンセラー / 第３分区IMリーダー
白戸　仲久（古河中央）	第７分区IMリーダー
保延　輝文（石　岡）	青少年奉仕担当カウンセラー / 第６分区IMリーダー
髙橋　賢吾（水戸西）	奉仕プロジェクトリーグリーダー / ガバナー指名委員長 / 第５分区IMリーダー
中村　澄夫（東海那珂）	ガバナー指名副委員長 / 第４分区IMリーダー
池田　正純（牛　久）	米山記念奨学会担当カウンセラー / ガバナー指名委員 / 第８分区IMリーダー
新井　和雄（下　館）	ロータリー財団担当カウンセラー / ガバナー指名委員 / 第２分区IMリーダー
大野　治夫（つくば学園）	ガバナー指名委員 / 第１分区IMリーダー

拡大委員会

1年　池田　正純（牛　久）
2年　新井　和雄（下　館）
3年　大野　治夫（つくば学園）

財団監査委員会

委員長　片岡信彦（土浦南）
委　員　木内洋一（水戸東）
委　員　平島泰裕（つくば学園）

地区研修委員会

研修リーダー　新井和雄（下　館）
サブリーダー　大野治夫（つくば学園）
委　員　山崎清司（古河東）
委　員　藤居彰一（日　立）
委　員　保延輝文（石　岡）
委　員　髙橋賢吾（水戸西）

RLI

地区代表FT　髙橋賢吾（水戸西）
委員長　高貫　修（水　戸）

オンツーコンベンション

大髙　司郎（高　萩）

危機管理委員会

委員長　池田正純（牛　久）
委　員　新井和雄（下　館）

戦略計画委員会

委員長　髙橋賢吾（水戸西）
副委員長　大髙司郎（高　萩）
委　員　井上壽博（水　戸）
委　員　野堀喜作（つくば学園）

ロータリー学友委員会

委員長　保延輝文（石　岡）

地区立法法案検討会

リーダー　髙橋賢吾（水戸西）
サブリーダー　大髙司郎（高　萩）
委　員　柿沼利明（古河東）
委　員　長野久嗣（水　戸）

地区ガバナー補佐

第一分区	鹿志村高道（日立南）	日立・日立南・高萩 北茨城・日立港・日立北 日立中央
第二分区	磯﨑　孝（那珂湊）	那珂湊・常陸太田・大子 大洗・勝田・東海那珂 ひたちなか
第三分区	井澤　卓司（水戸南）	水戸・笠間・水戸西 水戸南・友部・水戸東 水戸さくら・水戸好文
第四分区	高橋　采子（古河東）	古河・境・岩井・古河東 古河中央
第五分区	軽部　守彦（下　妻）	下館・結城・真壁・下妻 しもだて紫水・筑西きぬ 岩瀬
第六分区	鶴田　一郎（土　浦）	石岡・土浦・土浦南・つくば学園 石岡87・土浦中央・つくばシティ 阿見・つくばサンライズ
第七分区	池田　八郎（竜ヶ崎）	竜ヶ崎・水海道・取手 牛久・守谷・龍ケ崎中央
第八分区	荒井　一美（玉　造）	鉾田・鹿島臨海・玉造 波崎・鹿島中央

地区幹事

髙原　裕（水　戸）
大河原　浩（高　萩）
下村　正（つくば学園）

地区会計長・財務委員長

増山　英和（水　戸）

地区資金委員

石　君平（高　萩）
小林　保弘（つくばシティ）

ロータリーの友地区代表委員

高沢　彰（水　戸）

ロータリーの友委員

小森　勇一（高　萩）

ガバナーエレクト

大髙司郎（高萩）

ガバナーノミニー

瀬戸隆海（水海道）

地区研修・協議会

会長エレクト研修セミナー

地区チーム研修セミナー

クラブ奉仕 担当カウンセラー
藤居　彰一

クラブ奉仕
総括委員長
◎ 星野　幸子（水戸西）

会員増強
- ○ 吉岡　隆久（つくば学園）
- 佐藤　敏近（鹿島中央）
- 杉山　吉彦（下館さくら衛星）
- 井上　誠（下　妻）

クラブサポート
- ○ 人見　光一（水戸南）
- 和久井周一（岩　瀬）
- 和泉　好一（土浦南）

公共イメージ
- ○ 鈴木　茂美（日　立）
- 藤井　葉子（鹿島臨海）
- 徐　佳鋭（茨城E）

IT
- ○ 篠田　吉孝（水　戸）
- 林　正太郎（水　戸）
- 鈴木　昌実（つくば学園）
- 滝　徳宗（高　萩）

奉仕プロジェクト リーグリーダー
髙橋　賢吾

奉仕プロジェクトリーグ

職業奉仕
総括委員長
◎ 安　圭一（水　戸）
- 八文字典昭（水　戸）
- 柳下　文江（水戸東）
- 沖山　哲夫（つくば学園）
- 芹田　幸夫（阿　見）
- 杉田　一男（土浦南）

社会奉仕
総括委員長
◎ 關本　淳一（土　浦）

研究会担当
- 高野　勝憲（つくば学園）

地区補助金担当
- 倉持　功典（水海道）
- 平島　泰裕（つくば学園）

奉仕事業担当
- 菅野しのぶ（北茨城）

国際奉仕
総括委員長
◎ 平島　隆之（土　浦）

WCS・グローバル補助金担当
国際交流奨学金担当
- 松本　幸子（古河東）

国際交流共同

フィリピン担当
中村　康博（牛　久）

タイ担当
橋本　哲（水戸南）

ネパール担当
中島　賢一（土　浦）

青少年奉仕 担当カウンセラー
保延　輝文

青少年奉仕
総括委員長
◎ 高田　稔美（つくば学園）

インターアクト
- ○ 太田　秀夫（日立港）
- 石井　秀明（東海那珂）
- 塙　主税（水戸西）
- 山西　裕（水　戸）
- 柴沼　博之（土浦南）

青少年並びにライラ
- ○ 今川　武彦（つくば学園）
- 古澤　毅彦（下　妻）
- 渡部　俊介（石岡87）

ローターアクト
- ○ 塚越　俊祐（つくば学園）
- 川上美智子（水戸好文）
- 横須賀　靖（水　戸）
- 有金　重幸（日立中央）
- 髙木　大輔（下　妻）
- 前田　晃（茨城大学RAC）

青少年交換
- ○ 宇留野秀一（水戸南）
- 松本　豊（つくばシティ）
- 桑はら智恵子（水戸西）
- 瀬戸口　進（つくば学園）
- 大髙　司郎（高　萩）

ロータリー財団 担当カウンセラー
新井　和雄

ロータリー財団
総括委員長
◎ 新井　和雄（下　館）

ポリオプラス
- ○ 大島　茂久（つくばシティ）
- 七野　悟（つくばシティ）
- 鬼沢　保平（鉾　田）
- 関　康彦（水　戸）

資金管理・推進
- ○ 小野　智久（日　立）
- 高島　章行（日立南）
- 齋藤　章（結　城）
- 秋葉　良孝（水　戸）

補助金
- ○ 佐川　真治（水戸東）

地区補助金担当

報告
- ○ 佐川　真治（水戸東）

申請
- 井上　学（古河東）
- 菊池　泰正（土　浦）

グローバル補助金担当
- ○ 雨宮　淳（つくばサンライズ）

人道支援
端　敦宣（下　妻）
- 岡村　太郎（水戸南）

奨学金・学友
中野　勝（つくば学園）

VTT担当
田上　悟史（水戸西）

ロータリー平和フェローシップ
- ○ 小野　智久（日　立）

ロータリーカード推進
- ○ 七野　悟（つくばシティ）

米山記念奨学会 担当カウンセラー
池田　正純

米山記念奨学会
総括委員長
◎ 木村美枝子（水戸好文）

米山寄付増進
- ○ 白岩　大樹（牛　久）
- 小林　寛之（水戸さくら）
- 中村　武彦（境）
- 岩田　光造（水戸東）

米山学友
- ○ 瀬戸　隆海（水海道）
- 神山　芳子（下　館）
- 原田　博夫（土　浦）

米山選考
- ○ 村上　義孝（つくば学園）
- 草野　朋子（常陸太田）
- 江田　治雄（下　妻）

◎ 総括委員長
○ 委員長

Rotary District 2550 Rotary District 2570 Rotary District 2580 Rotary District 2590 Rotary District 2750 Rotary District 2770 Rotary District 2780 Rotary District 2790 Rotary District 2820 Rotary District 2840

SAIKAI IN KANTO
3rd World Yoneyama Conference

世界米山学友による
再会 in 関東
SAIKAI in KANTO

開催日程	2023年8月5日～6日(土・日)	
開催地	つくば国際会議場 〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3 https://www.epochal.or.jp/	
登録料	ロータリアン(ロータリアン学友含む)とそのご家族	15,000円
	米山学友・奨学生	7,000円
	(米山学友・奨学生は早期登録による3,000円割引あり:5月31日までの登録に適用)	
	その他(学友のご家族、友人など)	7,000円

大会プログラム

8月4日	前夜祭	18:00~21:00	自己紹介・歓談・交流	ホテル日航つくば
8月5日	ポスター発表	10:00~12:00	各学友会活動発表	つくば国際会議場
			ビジネス紹介＆出展	
	学友会会長会議	12:00~14:00	米山の世界大会について	
	式典	14:30~17:30	開会式	
			主催地区チャリティ奉仕リレー募金活動報告	
			パネルディスカッション	
			百人合唱祭	
			クロージングセレモニー	
	晩餐会	18:30~21:30	世界米山学友によるパフォーマンス	ホテルグランド東雲
8月6日	文化体験	10:00~16:00	文化体験バスツアー	世界最大級のサイエンスシティつくばでの研究所巡り

■登録に関するお問合せ：「再会 in 関東」実行委員会
Email：saikaikanto:@gmail.com / WeChat：WenCheong
■登録お申込 URL
https://forms.office.com/r/5T4CDxcgR4
■「再会 in 関東」案内ページ URL
https://yoneyama.my.canva.site/saikai-in-kanto

QR コードからのお申込みはこちら

主催：関東 10 地区米山学友会／協力：公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

コラム 私の思い

（私論）文化と文明について

ガバナー 大久保　博之

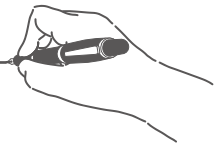
■みなさんは「文明」と「文化」の違いをご存知でしょうか?「文明」は世界の誰でもグローバルに、アメリカ人だろうがアラブ人だろうが、中国人だろうが便利でわかり易く、あるいはかっこいいもの・・。自動車、コンビニ、電気製品、クラシック音楽、ジーパン、ファストフード（早い飯という意味でFAST／ファスト）などなど・・・。

■これに比して「文化」はローカルで、地域的で、あるいは民族的で共通して持つ価値観・・・。司馬遼太郎さんがどこかに書いておられましたが、ターバンはインド人の間ではかっこよいし意味があるのでしょうが、日本人は巻きません。茶道や、わびさびの文化も中国人が見たらなんだか貧乏くさくて大衆に広まることは無いでしょう。その民族や地域だけで認められる行動様式や風習、物を「文化」と言います。

■でも世の中、全てコンビニやスーパーやショッピングセンターで、ファストフードだけだったら便利だけど味気ない？（アメリカには大自然はものすごいものがありますが、押しなべてファストフード文化だらけ?）何か物足りない。味わいや深みが無い・・・。ここでしか味わえないローカル性（例えばドイツのまち、町によって違う自慢のソーセージ、フランスの町で競い合うワイン、まちまちのお祭り、アジアのホスピタリティ、日本の初詣、茶道、自慢の郷土料理）世界には広まらないけどそこに住んでいる人、同士には、生きてる意味と安らぎを与えてくれるもの。これが「文化」です。これからは「文化」を磨く時代が成熟社会というものだと思います。

■クラシック音楽やオペラは西欧の一地域の「文化」でしたが、今は磨かれ、洗練され、成熟して人類共通の「文明」に昇華しました。

クラシックはアジア人も、ヨーロッパ人も、アメリカ人も皆聞きます。日本から世界に発信できる文明は育っていくのでしょうか?



【２０２４年　シンガポール国際大会早期登録のご案内】

開催期間　2024 年 5 月 25 日～5 月 29 日

国際大会の登録（開会本会議 2024 年 5 月 25 日）

5 月 27 日より MyRotary にてオンライン登録が可能です。7 月 1 日～ 12 月 15 日までは登録料が＄500 となります。開催期日が近づくにつれて、段階的に上がっていきます。

なお茨城ナイトは国際大会期間中の 2024 年 5 月 26 日（日）を予定しております。

国際大会の会場とホテル

大会の会場はマリーナ ベイ サンズ エキスポ ＆コンベンション センターとナショナルスタジアムの２か所となります。個人でいらっしゃる方は、ホテルを MyRotary で予約されるのも一案です。会場に近いホテルから埋っていきますので、早めの予約をお奨めいたします。

国際大会会場のマリーナベイサンズ

７月・８月のガバナー公式訪問

７月　６日（木）つくば学園ＲＣ
７月１２日（水）古河中央ＲＣ
７月１３日（木）笠間ＲＣ
７月１４日（金）龍ケ崎中央ＲＣ
７月１８日（火）日立ＲＣ
７月２０日（木）境ＲＣ
７月２５日（火）北茨城ＲＣ
７月２６日（水）東海那珂ＲＣ
８月　１日（火）友部ＲＣ
８月　２日（水）下館ＲＣ
８月　３日（木）日立港ＲＣ
８月　４日（金）玉造ＲＣ
８月　７日（月）水戸さくらＲＣ
８月　８日（火）しもだて紫水ＲＣ
８月　９日（水）大子ＲＣ
８月１７日（木）下妻ＲＣ
８月１８日（金）守谷ＲＣ
８月２１日（月）日立中央ＲＣ
８月２２日（火）日立南ＲＣ
８月２３日（水）日立北ＲＣ
８月２４日（木）筑西きぬＲＣ
８月２８日（月）岩井ＲＣ
８月２９日（火）鉾田ＲＣ
８月３０日（水）結城ＲＣ
８月３１日（木）取手ＲＣ

７月・８月のスケジュール

７月　８日（土）クラブ奉仕研修会
（ホテル テラス ザ ガーデン 水戸）

７月１５日（土）奉仕プロジェクトリーグセミナー
（ホテル テラス ザ ガーデン 水戸）

７月２２日（土）ロータリー財団研究会
（ダイヤモンドホール）

７月２３日（日）青少年奉仕研究会
（ホテル テラス ザ ガーデン 水戸）

８月　５日（土）米山世界大会「再会 in 関東」
（つくば国際会議場）

８月　６日（日）米山世界大会２日目
（つくば研究学園内を探索）

My Rotary 勉強会（ZOOM）

８月１１日（金）インターアクト年次大会
（水城高校）

８月２７日（日）米山記念奨学会セミナー
（つくば山水亭）

※地区年間予定表に８月２６日（土）「第１回会長幹事会」と掲載がありましたが、中止となりました。

第2820地区 分区地図

第１分区
日立RC、日立南RC、高萩RC、北茨城RC、日立港RC、日立北RC、日立中央RC

第２分区
那珂湊RC、常陸太田RC、大子RC、大洗RC、勝田RC、東海那珂RC、ひたちなかRC

第３分区
水戸RC、笠間RC、水戸西RC、水戸南RC、友部RC、水戸東RC、水戸さくらRC、水戸好文RC

第４分区
古河RC、境RC、岩井RC、古河東RC、古河中央RC

第５分区
下館RC、結城RC、真壁RC、下妻RC、しもだて紫水RC、筑西きぬRC、岩瀬RC

第６分区
石岡RC、土浦RC、土浦南RC、つくば学園RC、石岡87RC、土浦中央RC、つくばシティRC、阿見RC、つくばサンライズRC

第７分区
竜ヶ崎RC、水海道RC、取手RC、牛久RC、守谷RC、龍ケ崎中央RC

第８分区
鉾田RC、鹿島臨海RC、玉造RC、波崎RC、鹿島中央RC

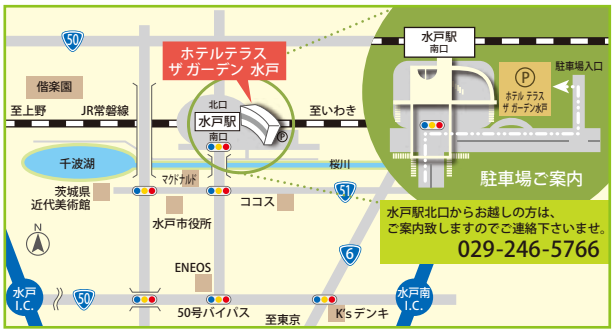
ガバナー事務所

ガバナー		大久保博之（水戸）	
地区幹事		髙原　裕（水戸）	
地区会計長		増山　英和（水戸）	
ロータリーの友地区代表委員		高沢　彰（水戸）	
地区大会実行委員長		八文字典昭（水戸）	
地区副幹事	地区副幹事長	横須賀良一（水戸）	
地区副幹事長補佐	二川　泰久（水戸）	高貫　修（水戸）	
	安　圭一（水戸）	稲毛　一樹（水戸）	
	秋葉　良孝（水戸）	荒川　繁美（水戸）	
	藤田　卓也（水戸）	布施　武史（水戸）	
	白田　礼治（水戸）	幡谷哲太郎（水戸）	
	林　正太郎（水戸）	神尾圭太郎（水戸）	
	香嶋　貴（水戸）	川名　信博（水戸）	
	川﨑　隆一（水戸）	工藤　勝則（水戸）	
	宮田　武範（水戸）	宮﨑　雅彦（水戸）	
	中庭　忠（水戸）	西　修（水戸）	
	額賀　正博（水戸）	大関竜太郎（水戸）	
	齊藤　佳昭（水戸）	佐藤平八郎（水戸）	
	関　康彦（水戸）	関根　貴雄（水戸）	
	篠﨑　和則（水戸）	但野　友久（水戸）	
	高尾　哲也（水戸）	任田　正史（水戸）	
	土子　仁志（水戸）	海野　勝人（水戸）	
	和田徹太郎（水戸）	山口　晃平（水戸）	
	山口　政美（水戸）	山西　裕（水戸）	
	横須賀　靖（水戸）		
月信編集委員	編集委員長	豊﨑　一彦（水戸）	
	中村　三喜（水戸）	藤田　卓也（水戸）	
	神尾圭太郎（水戸）	北島　重司（水戸）	
	山口　政美（水戸）		

事　務　局	事務局長	内田　浩司（水戸）	
副事務局長	田中　邦彦（水戸）	副事務局長	長野　久嗣（水戸）
	片岡　宗厳（水戸）		成田　浩明（水戸）
	根本洋一朗（水戸）		富田　敬子（水戸）

（撮影日：2023年5月末日）

国際ロータリー第2820地区　大久保ガバナー事務所
月信編集委員会



LINE 公式アカウント　@103mbrqx

友だち募集中

第2820地区公式ＬＩＮＥを開設いたしました。
ＬＩＮＥアプリより友達登録をしていただくと、
地区からのお知らせや月信がご覧いただけます。

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください

編集後記

大久保ガバナー年度の月信編集委員長を拝命致しました水戸ＲＣの豊﨑一彦と申します。私を含めた６名のメンバーで月信の編集にあたって参ります。何をやっていいのかよく理解しないまま打合せと飲み会を積み重ねて第一回目の発刊に至りました。これからＲＩ第2820地区のロータリアンの皆様には短納期での原稿依頼等お願いすることになることもあろうかと思いますが、気持ちよくお引き受け頂けますよう記事の内容にも工夫を凝らしていくつもりです。暖かい気持ちで見守って頂ければ幸いです。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

Rotary 第2820地区

国際ロータリー第2820地区　ガバナー事務所

〒310-0015 茨城県水戸市宮町１－７－20　ホテルテラス ザ ガーデン水戸１階
TEL：029-246-5766　FAX：029-246-6533
E-mail：23-24@rid2820.jp　ホームページ：http://www.rid2820.jp

D-2820 MITO JAPAN